

みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 21-3号

2022年4月13日(水)

<http://www.n-syaho.com>

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

(長野市高田中村276-8：長野県社保協内)

安曇野市・松本市・塩尻市 18歳まで福祉医療給付年齢を拡大！

4月から中信3市が福祉医療給付の対象年齢を15歳から18歳まで年齢を拡大しました。いずれも所得による制限はありません。18歳までの年齢拡大は長年私たちの運動で要望してきたものです。これを機に県下で制度がさらに前進することを期待します。中信3市の年齢拡大には、長野県が通院に対する医療費助成を就学前から小学校3年生まで年齢を引き上げ予算化したことが背景にあります。市町村の制度拡充にとって県としての支援は欠かせません。



今後は県内すべての市町村の助成対象を18歳まで引き上げること、窓口の一部負担金を撤廃し、障がい者の医療費助成の現物給付化など、県内どこに住んでも同じ助成制度のもとで子育てができる、ケアに手厚い長野県にすることが求められています。

伊那市長選

候補者(現・新)「子ども医療費の完全無料化」を公約

4月に行われる伊那市長選挙では、現職と新人ともに受診の際に必要な自己負担金500円の完全無料化を公約に掲げており注目されています。公約通りに実施されれば、市としては初めて「完全無料化」が実現することになり、周辺市町村への波及効果も期待されます。

県小児科医会「完全無料化」を県に要請

3月14日、長野県小児科医会として松岡高史会長、健和会病院長の和田浩院長を含む7名が長野県と懇談し、県として「子ども医療費の完全無料化」を実施するよう要請しました。すすめる会の会長でもある和田院長は「小児科医会として子供の貧困対策に完全無料化が必要との考えを示したことは良かった」とコメント。県に対して小児科医会が改善を要望したことは画期的で重要なアクションとなりました。8月の県知事選挙は私たちの願いを実現するチャンスです。いのちのケアに手厚い県政の実現を求めましょう。

福祉医療給付制度の改善を進める会

講演会・総会

・5月29日(日) 13:00~15:30

・オンライン開催 (zoom 会議)

I. 13:00

□ミニ講演「完全無料化の必要性について」

和田 浩医師

□ 講演「いのちのケアについて考える」

～日本の精神医療に望む改革と人権尊重・当事者の視点より～

大堀尚美氏(NPO 法人ポプラの会)

II. 14:40~15:30

□すすめる会総会

*すすめる会の総会は別紙のチラシを確認してください。

SAVE UKRAINA

「#NoWar」

人権も社会保障も平和憲法でこそ